

〔御湯殿の上の日記〕永祿三年正月廿七日、けふはてんきよく、御玄よくゐするくどめでたし、御けいごみよしとゆりの大夫ながよしなり、御たちたぶみよしも御たち萬疋まん上する、廿八日、御玄よくゐめでたしとて、あんせん寺どのより御かはらけの物三色二かまいる、とんげんどのより五すへ三かまいる、ふしみどのよりあら物三色三かまいる、廿九日、大しやう寺どのより三色二かまいる、萬里小路大納言惟房より五色三かまいる、二月二日、ふしみのはん玄ゆ院御玄よくゐの御れいに二色二か參る、略

〔玉露叢〕御即位記

一寛永七年九月十二日御即位正明之事アリ、退散ノ後、厩橋侍從忠世井酒、佐倉侍從利勝土周

防守重宗倉板、施藥院ニシテ裝束ヲ改メ内裏へ參ラル、兩傳奏先入テ奏ス、今度ノ御位ヲ賀シ

申サル、將軍家ヨリノ御使厩橋侍從進ミ參ラル、常ノ御大刀ニ御馬代白銀千兩進ゼラル、院

へ常ノ御大刀御馬代白銀五百兩、皇太后へ同ク五百兩進ゼラル、大相國ノ御使佐倉侍從參ラ

ル、御進物ノ目錄何モ前ニ同ジ、此外白銀千兩女官中へクバリ玉フ、皆是慶長十六年ノ例ナリ

トゾ聞ヘケル、厩橋侍從佐倉ノ侍從天盃天酌玉リテ退出セラル、尾張大納言ノ使者竹腰山城

守、紀伊大納言ノ使者安藤帶刀、駿河大納言ノ使者鳥居土佐守、水戸中納言ノ使者中山内記、皆

上洛シテ各傳奏ヲ以テ進物ヲ捧ラル、其外諸大名御悅ノ捧物アリ、官位ノ尊卑ニヨリテ差ア

リ、乃至食封十萬斛以上ノ人悉ク皆捧物ヲ奉ル、イトモカシコク目出タシ、廿七日、勅使兩傳奏

衣冠ニテ厩橋侍從佐倉侍從ノモトへ立向ヒ、名作御大刀并寮ノ御馬ヲ各へ玉リケレバ、兩侍

從モ裝束ヲヨソヒテ對面シ、其タマモノヲ戴テ辱モカシコマリテ申サル、其主ヲ敬スルノ餘

リハ、其使ニ及スノ禮儀ナルベシ、略

〔大猷院殿御實記 五十五〕寛永二十年十月廿九日、御即位を賀せられ、主上後光明へ御大刀馬代銀五